

コロナ禍での行事 無事開催!

鳴海ヶ丘新聞

第2号

2020年12月



◇ 展覧会 10月10日(土) 鳴海ヶ丘幼稚園内にて ◇



2学期の大事な行事である展覧会と幼稚園まつりを、例年とは形式を変え、無事に開催することができました。密にならないために、ご来場時間・ご来場人数・座席を指定させていただいたり、入り口での検温・消毒を実施したりと、保護者の皆様にご理解ご協力をいただくことができ、感謝申し上げます。有難うございました!

生憎のお天気でしたが、どのご家族もお子様のお話を聞きながら作品一つ一つを丁寧にご覧になって、楽しい時間を過ごされていました。

◇ 幼稚園まつり(音楽リズム発表会) 11月27日(金) 月々

月 日本特殊陶業市民会館フォレストホールにて◇

青組
器楽合奏



お子様方は、大きな舞台にドキドキしながらも、クラスのお友だちと力を合わせて、練習してきた成果を存分に発揮することが出来ました。青組と有志のお母様方が歌い上げた『希望の歌』のビデオライブでは、「目頭が熱くなりました」と感想を述べてくださる方が沢山おられました。会場の皆様の心に響いた発表会になったと感じております。

赤組
リズムダンス



黄組
リズム表現



「希望の歌」
ビデオライブ



エコ集会 12月7日(月)、10日(木)



お弁当給食の食べ残しの量を全クラス調べてみました。そしてお茶碗何杯分の食べ物が捨てられてしまったのかを集会で伝えると「もったいないね」という言葉が聞こえてきました。お弁当ができるまでに、多くの人が携わっていること、食べるものがなくて病気になるたり死んでしまう子どもたちが世界には沢山いること等のお話をどの子どもも真剣な表情で聞いていました。(食べ残しの量の調査結果は、掲示板に貼りだしました。)

「新しい行事スタイル」

今年の漢字は「密」。ただ三密を避けた2学期の行事内容は「濃密」になりました。六部制の展覧会は、順路をつくり、短時間で全園児の作品をご覧いただきました。三部制の幼稚園まつりは、新企画のフィナーレ、歌唱「ビデオライブ」までテンポよく感動のステーションとなりました。とくに希望の歌収録では、こどもたちの笑顔が輝き、保護者の

クリスマス会 12月11日(金) 縦割り保育にて



英語講師のヘンリ先生とハリソン先生にもご参加いただき、縦割りコースごとに、クリスマス会が行われました。お二人の先生の母国でのクリスマスの過ごし方や楽しい思い出のお話を聞いたり、クリスマスソングを歌って踊って、ゲームをしたり…。最後には、プレゼントもいただいて楽しいひと時を過ごしました。



皆様が共演していただけるよう、苦肉の策でマスクをはずした屋外発表となりました。収録当日、長年演出の舞台監督さんに、「栄光学園記念の「ページ」と言われしました。少人数、短時間、映像発表の行事となりましたが、コロナ禍がクオリティーのある「新しい行事スタイル」を生み出しました。来年もピンチをチャンスに変えて、教育内容を深めていきます。皆様よいお年をお迎えください。

園長 岡田勝彦